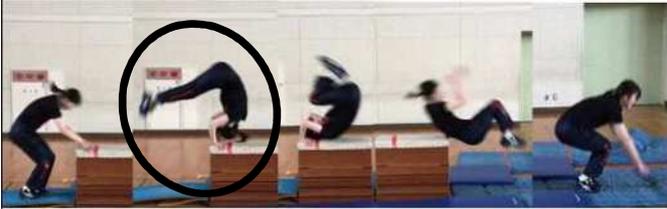


小4・体育「器械運動（台上前転）」

本時の展開（5／6）

【ねらい】 腰の位置を高く保って着手することに気付き、滑らかな台上前転をすることができる。	
【めざす子どもの姿】 腰を高く保って着手し、滑らかな台上前転をすることができる。	
【評価規準】 両足を揃えて踏み切り、腰の位置を高く保った滑らかな台上前転をしている。（知識・技能）	
	<p>学習活動（○予想される児童の考えや反応）</p> <p>●研究方法 ・指導、援助</p>
導入	<p>1 ACP 進化じゃんけん 2 準備運動 ①かえるの足打ち ②マット前転 ③腕立て跳び上がり降り 3 全体計画</p>  <p>課題：『ドンッグッ』と手を着き、腰が高く上がる台上前転をめざそう。</p>
展開	<p>4 前半練習（基本練習トリオ） ・共有した動きのイメージと技術ポイントを視点に動きを見合い、自分の姿にあった課題を設定する。</p> <p>5 中間交流会 ・腰を高く上げるためのコツを発表する。 ○両足でトーンと強く踏み切り、跳び箱をグッと両手で挟むように着くと腰が高く上がりました。</p> <p>6 後半練習（同一課題トリオ） ・自己課題に合った練習を行い、腰を高く保って着手し、滑らかな台上前転を目指し練習をする。 ○マットの上で真っ直ぐ前転できるよう練習しよう。 ○体を開き、膝を柔らかく使ってふわっと着地したい。</p> <p>・前半練習は、基本練習トリオで行う。共有した動きのイメージと技術ポイントを視点に動きを見合い、自分の姿に合った課題を設定する。 ・後半練習は、同一課題トリオで活動を行い、自己課題に合った練習を行う。</p> <p>・観察する部位を絞ってタブレットで自分の姿を観察させることによって、目指す動きの視覚的なイメージと自分の動きを比較し、自分に合った課題や練習方法を設定できるようにする。 ・1段、2段、3段など様々なコースを作ることによって課題解決が難しい児童の配慮をする。 ・本時の課題を達成できた児童には、ロイロノートで、さらに上の課題である「伸膝台上前転」の動画を提示する。</p>
終末	<p>7 発表会 ・本時の課題を意識して練習して高まった姿をグループでお互いに撮影する。</p> <p>8 全体反省会 ・技能の高まりと課題に向かって活動する仲間のよさを共有し、次時につなげる。</p> <p>・動画を基に、自分の歩みを振り返ることによって、お互いの頑張りや動きの高まりを認め合えるようにする。 ・振り返りを基に、高まった動きを価値付ける。</p>